

第二期中期計画（案）に対する評価委員意見について
（平成24年11月9日開催 高齢者医療・研究分科会 委員発言要旨）

「1（1）オ（イ）医療安全対策の徹底」について

- 「9 その他業務の運営に関する重要事項（法人運営におけるリスク管理の強化）」の中でBCPの整備が盛り込まれている。新型インフルエンザなど大規模な感染対策についてもBCPで定めるとのことだが、「医療安全対策の徹底」の項目で記述されている地域ぐるみの院内感染症対策についても、リスク管理の項目に盛り込むべきではないか。

「2（2）適切なセンター運営を行うための体制の強化」について

- トップマネジメントの機能強化、ガバナンスの強化は、経営面だけでなく、医療の質を確保するためにも重要である。そのために、「より適切な意思決定を行うための組織体制の整備」、「業務監査の実施」を中期計画に掲げているのだと思うが、外部からのチェックだけでなく、トップマネジメントのイニシアチブにより、法人内部から業務の適正化を図ることをより強力で打ち出すべきではないか。

「3（2）コスト管理の体制強化」について

- 二期の5年間で精緻な原価計算を行うことは大変なことだと思うが、段階を踏んで目標達成するように、各年度の年度計画の中で具体的な目標設定をしてほしい。

「別表（予算・収支計画・資金計画）」について

- 収支計画は29年度末で約35億円の累積赤字の予定となっている。できるだけ収入増を目指すとともに、固定費、変動費ともに、コスト減をめざしてほしい。

その他

- 目標設定は、必ずしも定量的なものである必要はなく、定性的な内容であっても、客観的な評価が可能となるような、きちんとした目標設定であればよい。25年度計画で、明確な目標設定をしてほしい。
- これまでの年度評価において、他の医療機関との比較では優れている実績であるのに、計画どおりの実績の場合に、高い評価ができないということがあった。年度計画の立て方、あるいは評価の方法を検討する必要がある。